

## 研究主題

# 社会とつながり未来を創る子供の育成

～社会的事象の見方・考え方を働かせ、  
主体的に問いを追究する学習を通して～

## 研究の重点内容

- ① 主体的に追究する問いの工夫
- ② 見方・考え方を働かせる学習活動の工夫
- ③ 子供の学びを確かにする評価の工夫

## 都小社5年部会

# 笠原実践「環境を守るわたしたち」における研究内容

- ① 子供が自ら学習状況を把握しながら「問い」を追究するための工夫
- ② 図や表などにまとめて整理する活動
- ③ 学習に見通しをもつためのふり返りの工夫

# ① 子供が自ら学習状況を把握しながら「問い」を追究するための工夫

◎今回の実践のテーマ

児童に「学びのハンドル」を握らせた社会科授業とは？

「問いの構成」に整理してみるけど、教師が「問い」を提示しているように見えてしまう…。

昨年度、開発した教材を活用して、もっと児童が主体的に学ぶ姿が見られる実践にできないだろうか…？

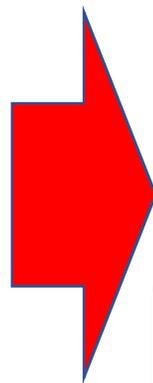
# 「調べる」段階の追究の仕方の工夫

## 小単元「環境を守るわたしたち」

国や都による公害を  
なくす取組

企業による公害を  
なくす取組

市民団体の公害を  
なくす取組



学習の構造として、「公害をなくすための取組」を様々な立場から調べるという学習内容

調べるための「問い」について、一つ一つの内容の順序性があまり問われないという特徴

## 「調べる」段階の追究の仕方の工夫

学習問題：東京湾の水をきれいにするために、誰がどのようなことをしたのだろう。←

問い：国や東京都は何をしてきたのだろう。←

- ・どのような仕組みや工夫をしたのだろうか？←
- ・苦労することや困っていることは何か？←

問い：企業は、何をしてきたのだろう。←

- ・企業はどんな工夫をしているのだろうか？←
- ・なぜ企業の協力が必要なのだろうか？←

問い：市民団体は、何をしてきたのだろう。←

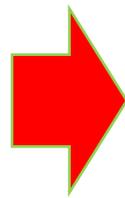
- ・どのような市民団体があり、何をしているか？←
- ・どんな課題があるのだろうか？←

問い：それぞれはどうつながっているのだろう。

児童の問題意識に応じて、調べる順序や資料、方法の選択に幅をもたせることで、自分が学び方を選択できるようにする。

## 「調べる」段階の追究の仕方の工夫

「調べる」段階の学びを  
児童に委ねたい！



「つかむ」段階において、児童の  
問題意識をしっかりと高めておく  
必要がある！

昨年度の実践

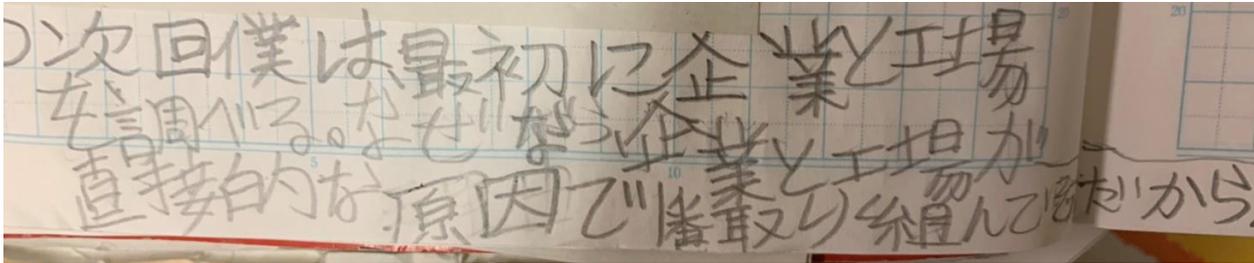
モデル事例として、水俣病の  
状況をつかんでから、東京湾  
の公害について学習

今年度の実践

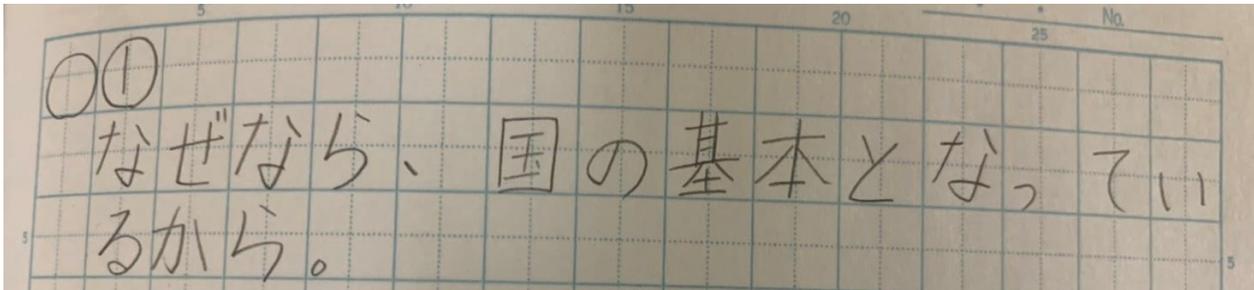
全国の公害発生背景や広が  
りから、東京湾の公害の状況  
について、じっくり学習

# 「調べる」段階の追究の仕方の工夫

## 第2時での学習計画



次回僕は最初に企業と工場  
を調べる。なぜなら企業と工場が  
直接的な原因で廃棄物を出しているから。

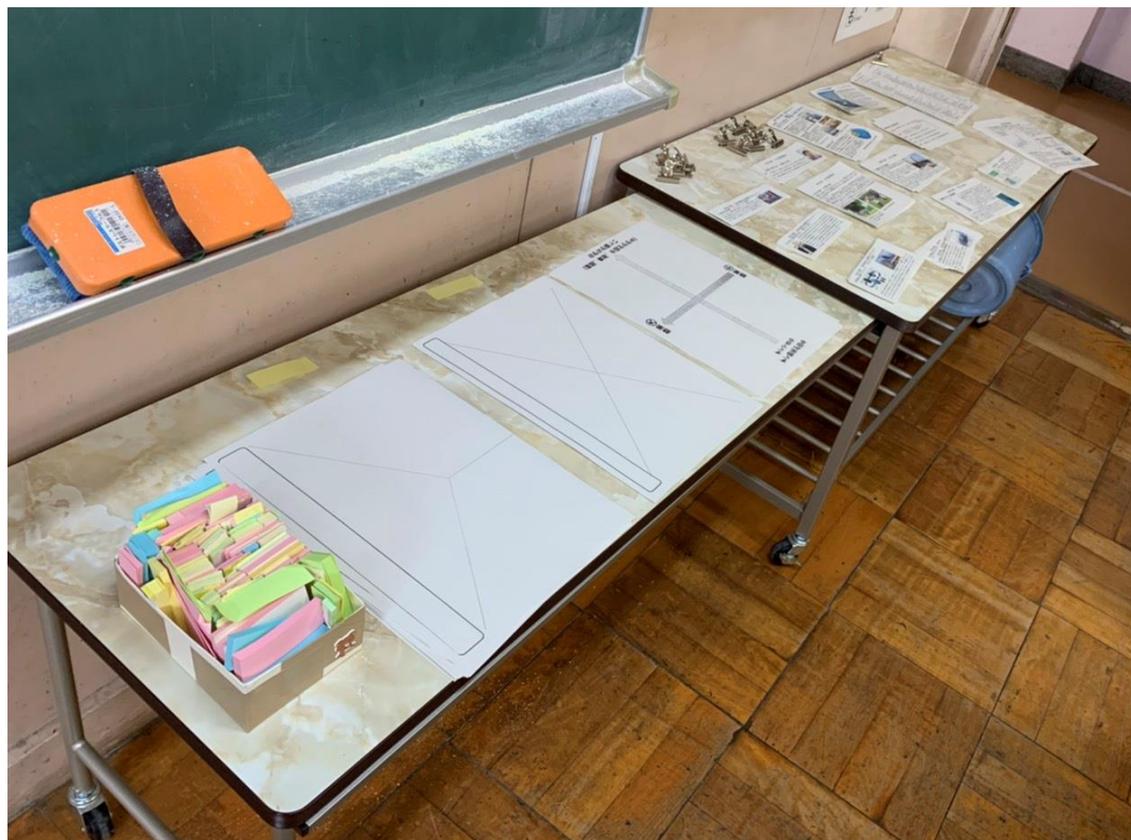


①  
なぜなら、国の基本となっ  
ているから。

「学習計画」を立てる際に、  
「自分は、こういう理由で  
〇〇から調べる」と考え  
させることで、調べるための  
目的や追究意欲を喚起  
していく。

# 「調べる」段階の追究の仕方の工夫

## 児童の学びの場の環境を整える



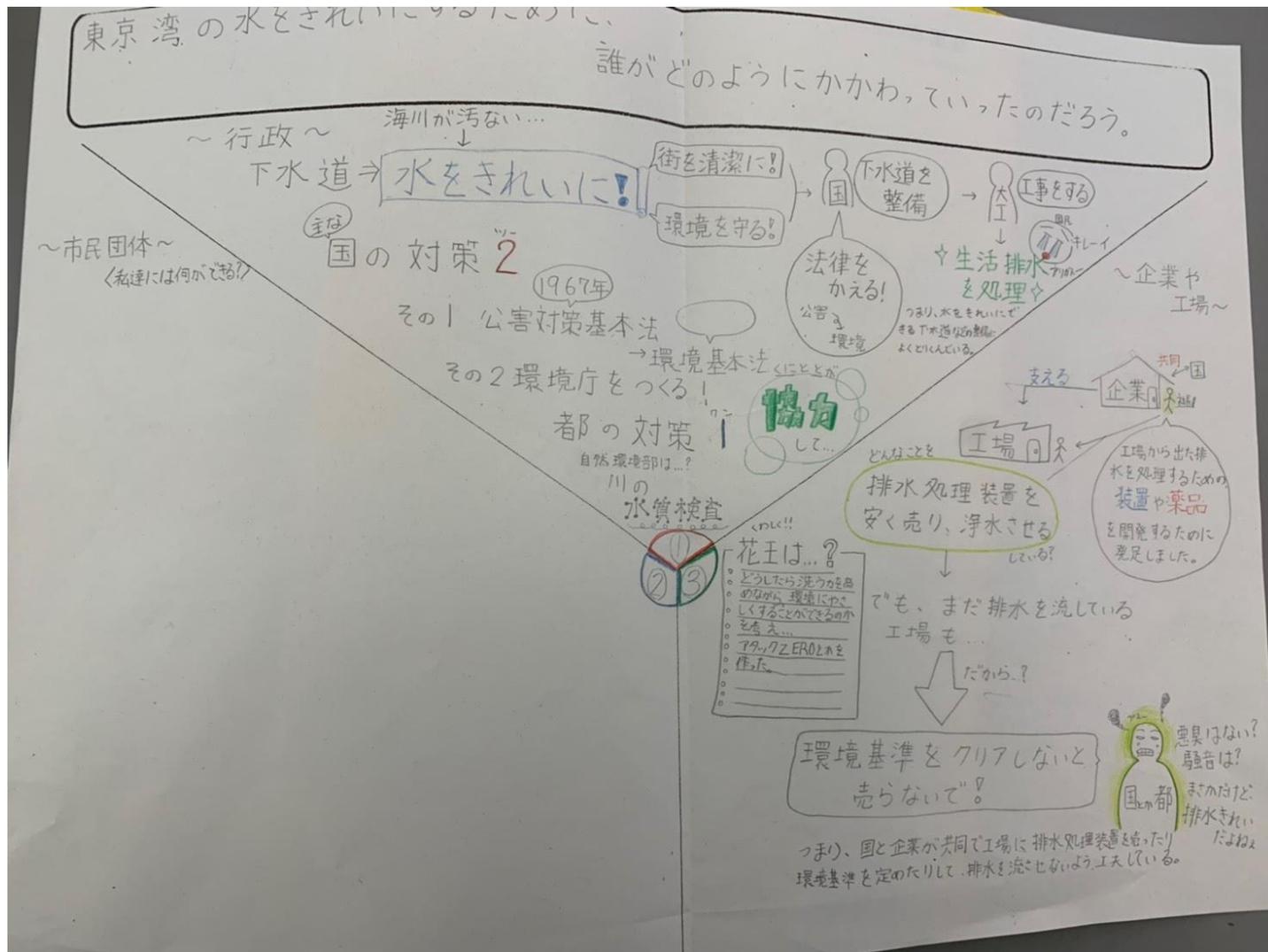
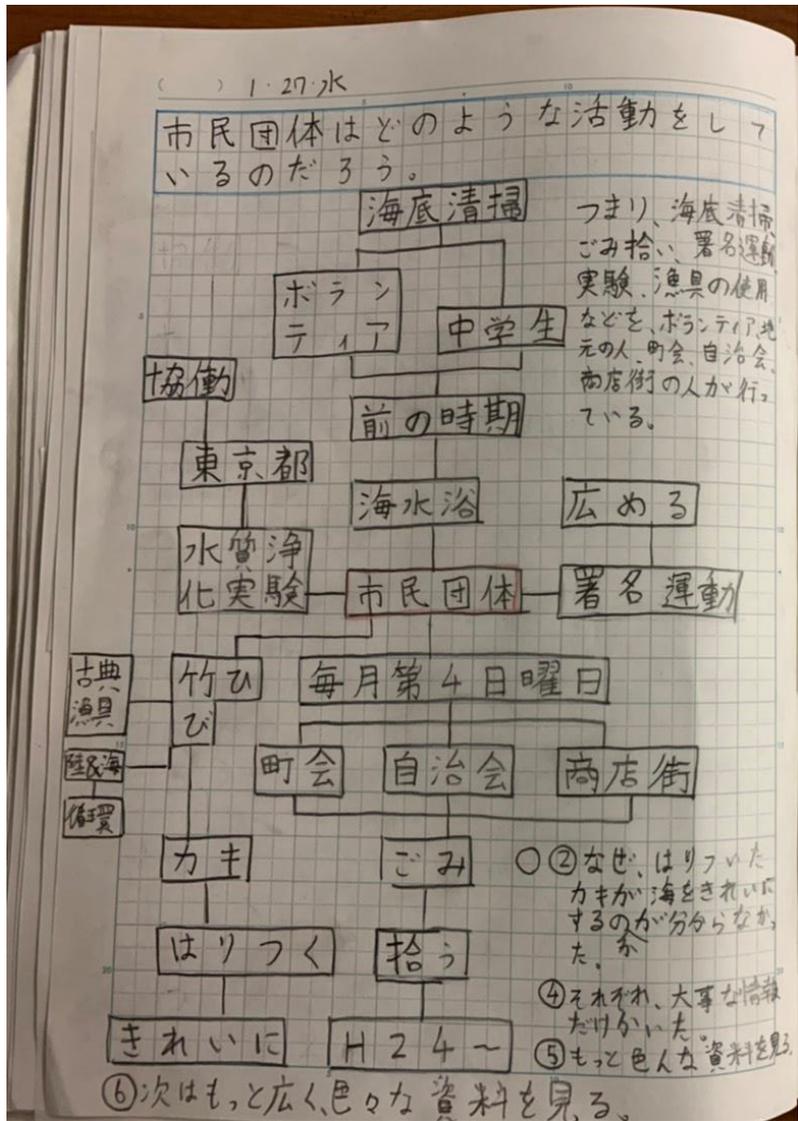
調べる資料を選択できる

思考ツールなどの  
ワークシート

付箋氏の活用

活用できる動画の整理

# 「調べる」段階の追究の仕方の工夫



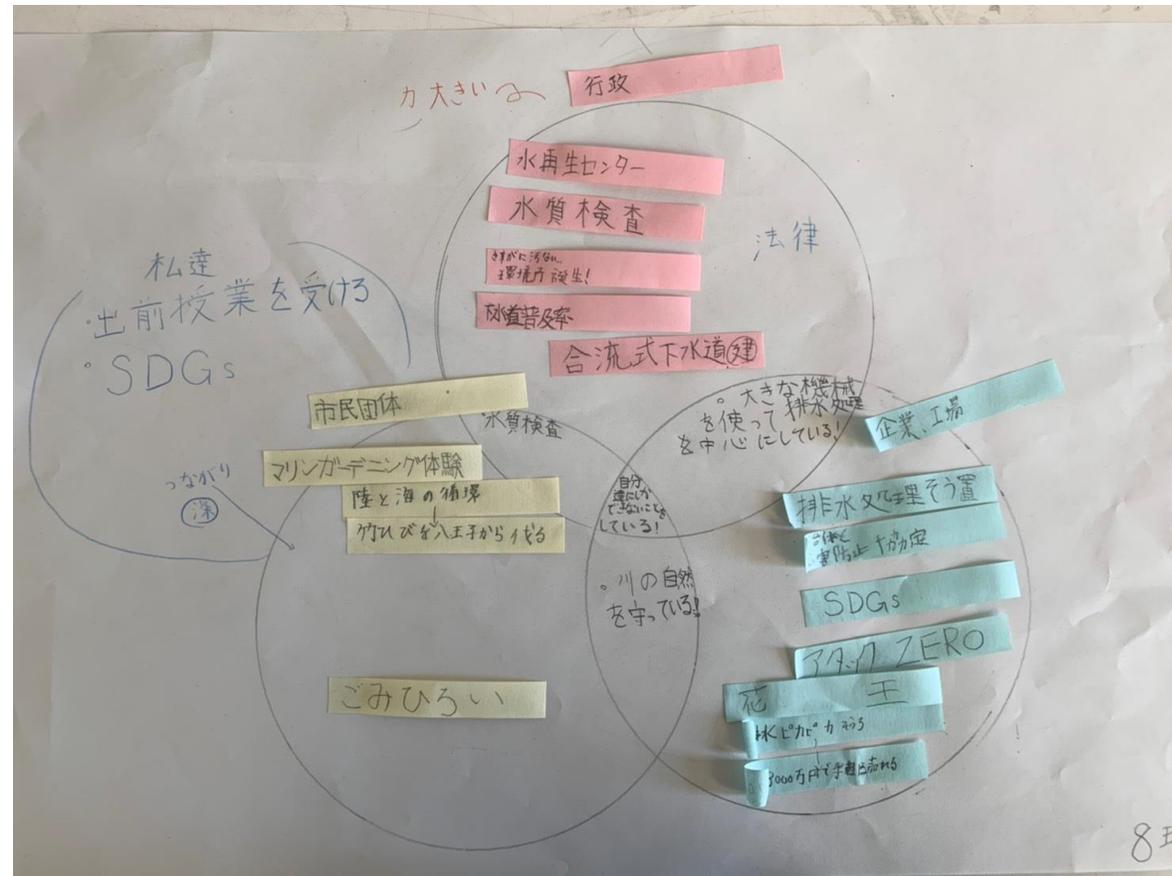
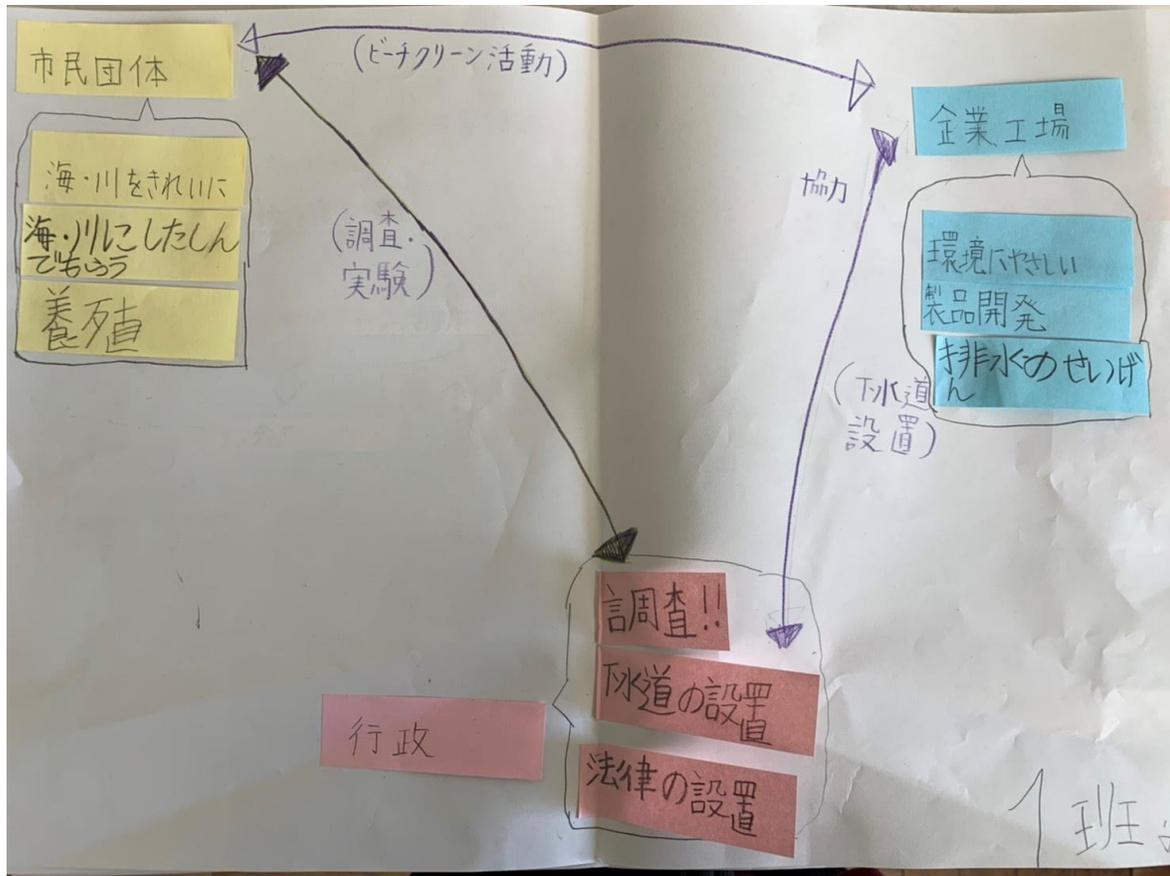
## 「調べる」段階の追究の仕方の工夫

児童一人一人に合った学習支援

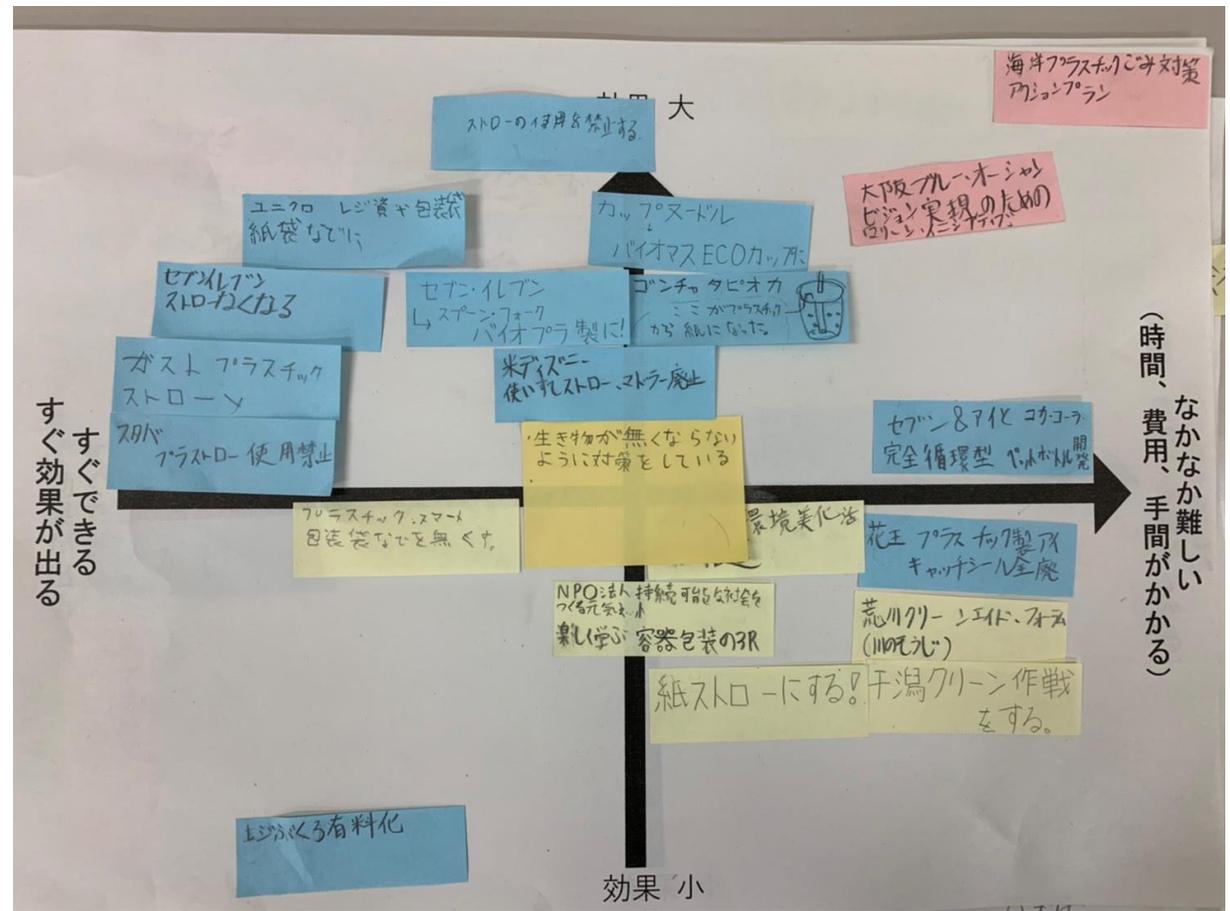
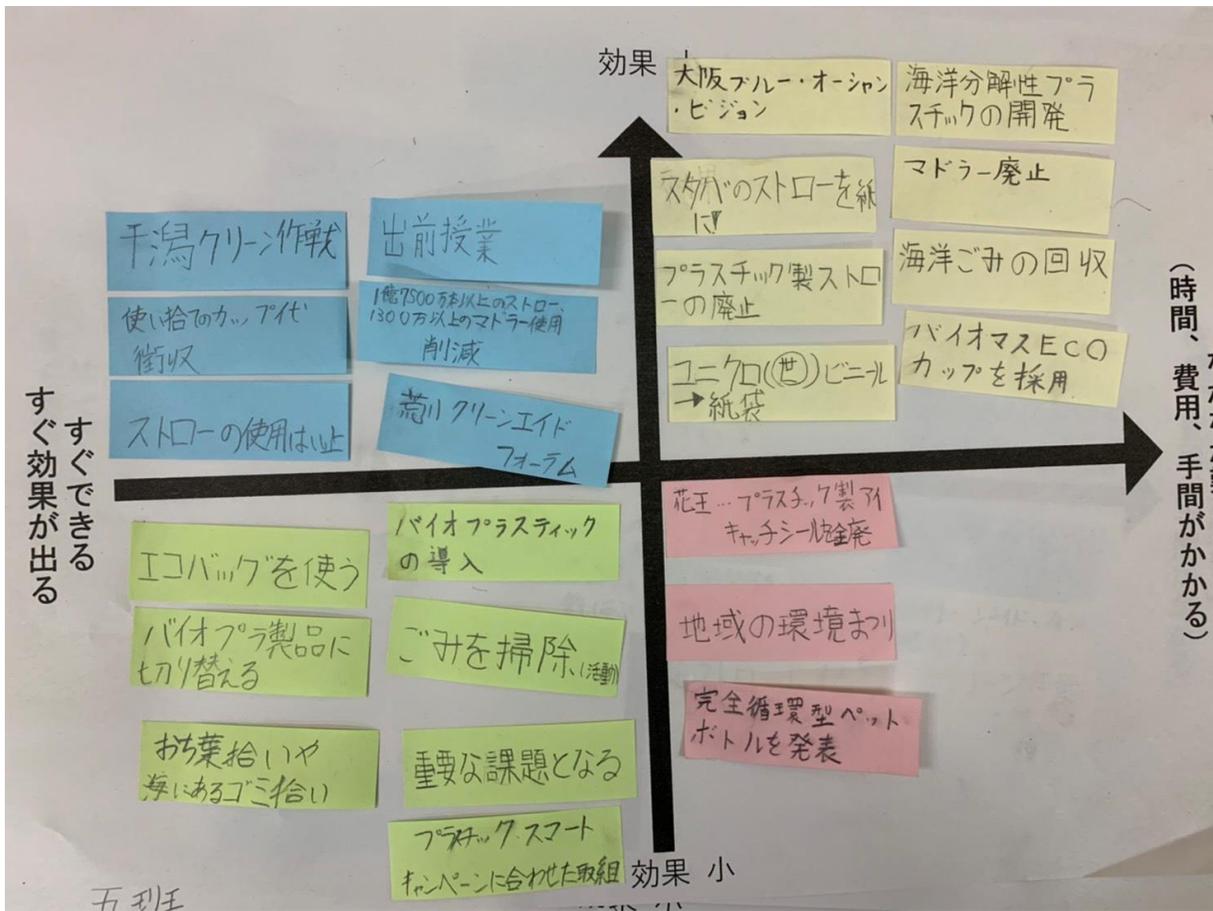
児童の学び合い

その時間に、同じ課題を共有できる児童が、互いに学習状況を確認したり、修正したりできる時間を設定

## ② 図や表などにまとめて整理する活動



## ② 図や表などにまとめて整理する活動



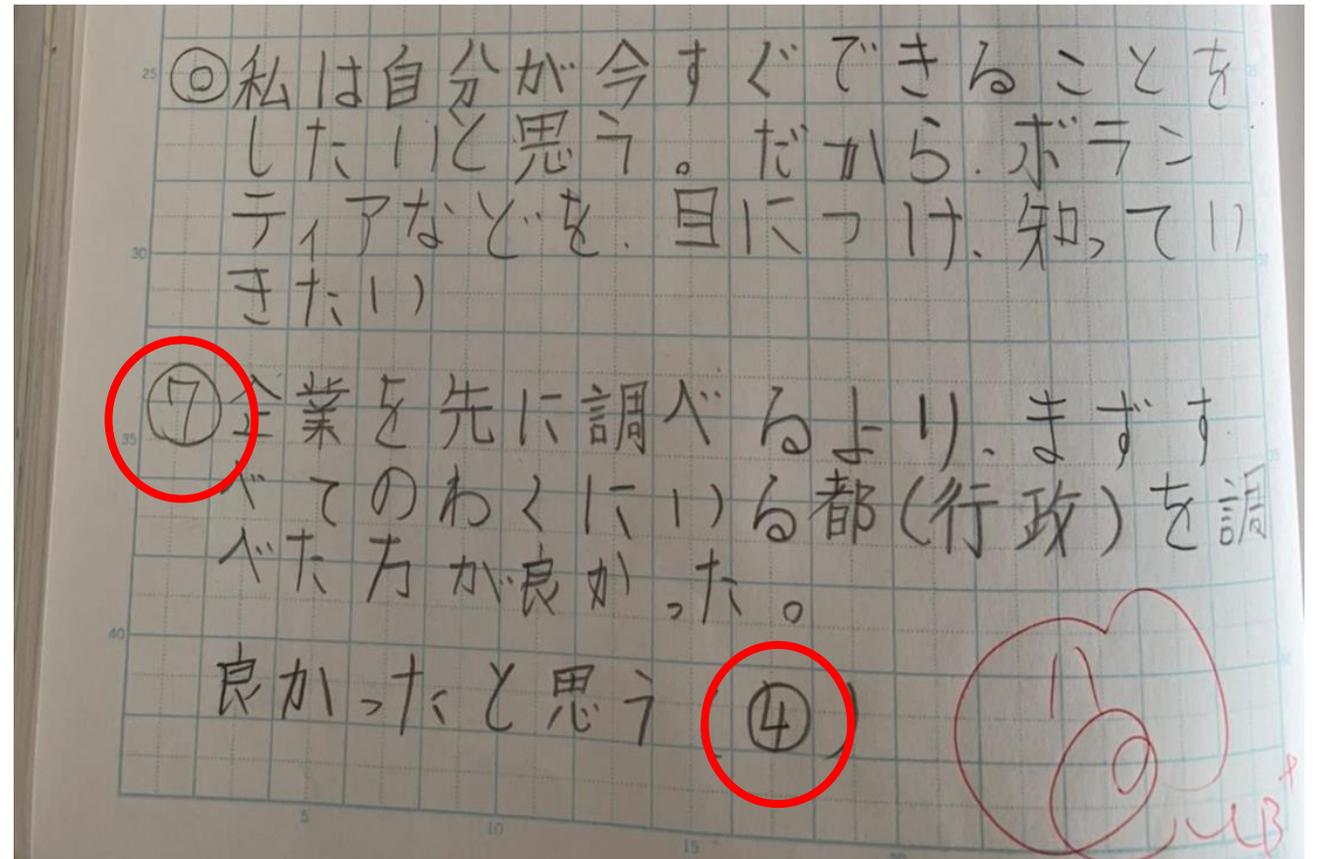
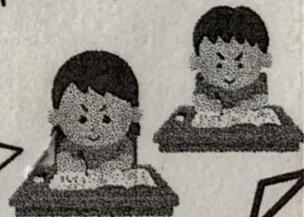
### ③ 学習に見通しをもつためのふり返りの工夫

#### ～ ふりかえりの問い ver1.1 ～

☆今回の学びについて自分は…

- |             |                |
|-------------|----------------|
| ①何が分かったか    | ⑤どうしたかったか      |
| ②何が分からなかったか | ⑥次どうすればよいか     |
| ③何を考えたか     | ⑦そもそもどういうことなのか |
| ④どう学んだか     |                |

感想ではなく、次の自分の学びにつながるように自分と向き合しましょう！



### ③ 学習に見通しをもつためのふり返りの工夫

	A	B	C	D	E	F	G	
1	1 (つかむ)	2 (つかむ)	3 (調べる)	4 (調べる)	5 (調べる)	6 (まとめる)		
①	公害の被害には、大気汚染、水質汚濁などがあると分かったり、公害の原因はひとつがついていると分かった。		企業の取り組みがわかった。	先生資料から、行政、市民団体の取り組みが分かった。				
②				工場の取り組みまで調べられなかった。				
③	①から、公害を減らすためには、環境に優しいものをつかうといいと考えた。							
④								
⑤								
⑥				今回は、ゆっくりやりすぎたので、次はもう少し早く調べようと思う。	次は、今回調べたことをまとめて、もう少し細かいところを調べたい。			

GIGAスクール構想で  
こんな可能性も…  
→小金井市は、Google  
のアカウントを児童一  
人一人に配布。  
→自分の振り返りを打  
ち込んで友達と互いに  
閲覧できる。